

指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物 指定種

1 指定種（案）の概要

指定希少野生植物：52種　うち特別指定希少野生植物：14種

(1) *里山に生育する希少野生植物（33種：63.5%）

【指定希少野生植物】

カザグルマ	オキナグサ	エンピセンノウ
ヤマシャクヤク	サクラソウ	タヌキマメ
ハナノキ	ルリソウ	ツツザキヤマジノギク
ヤマタバコ	ホソバノシバナ	ウラシマソウ
シライトソウ	ミカワバイケイソウ	ササユリ
ヤマユリ	ハナゼキショウ	ヒメシャガ
コアツモリソウ	サギソウ	ミズチドリ
トキソウ	ヤクシマヒメアリドオシラン	カヤラン
モミラン	ユウシュンラン	

【特別指定希少野生植物】

ウロコノキシノブ	タデスミレ	アツモリソウ
ホテアツモリ	クマガイソウ	イワチドリ
キンラン		

(注) 里山：一般的には、農林業などの人の営みによって形成された二次林を指すが、ここでは、人里周辺の森林、草地、湿地及び河川などを含む自然環境を総称して表現している。

(2) 県民主体の保護回復活動が期待される希少野生植物（35種：67.3%）

【指定希少野生植物】

センジョウデンダ	カザグルマ	オキナグサ
シラネアオイ	エンピセンノウ	ヤマシャクヤク
ベニバナヤマシャクヤク	サクラソウ	シラヒゲソウ
タヌキマメ	ハナノキ	ツキヌキソウ
ツツザキヤマジノギク	ヤマタバコ	ホソバノシバナ
ミカワバイケイソウ	ササユリ	ヤマユリ
ヒメシャガ	キバナアツモリソウ	サギソウ
ミズチドリ	トキソウ	ヤクシマヒメアリドオシラン
カヤラン		

【特別指定希少野生植物】

ヤシャイノデ	ウロコノキシノブ	ツクモグサ
トガクシソウ	タデスミレ	シナノコザクラ
コマウスユキソウ	アツモリソウ	クマガイソウ
キンラン		

(3) 本県を代表する高山植物

【特別指定希少野生植物】

ツクモグサ	コマウスユキソウ
-------	----------

(4) 比較的個体数が多いが、急激な減少を見せている希少野生植物

【指定希少野生植物】

ヤマシャクヤク	サクラソウ	ササユリ
ヤマユリ		

2 指定種及び指定理由

①：特別指定希少野生植物

整理番号	種名 (RDB掲載ページ・カテゴリー)	指定理由(案)
1	センジョウデンダ (59 / CR)	亜高山帯に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
2	① ヤシャイノデ (59 / CR)	山地帯の沢すじに生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
3	トヨグチウラボシ (61 / CR)	亜高山帯に生育する日本唯一の産地のもので、園芸を目的とした採取圧により、個体数が既に著しく少なく、特に保護を図る必要があるため。
4	① ウロコノキシノブ (62 / CR)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
5	カザグルマ (139 / EN)	里山に生育するもので、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
6	オキナグサ (140 / EN)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
7	① ツクモグサ (65 / CR)	高山帯に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
8	シラネアオイ (192 / VU)	山地帯から亜高山帯にかけて生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
9	① トガクシソウ (66 / CR)	山地帯に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。

整理番号	種名 (RDB掲載ページ・カテゴリー)	指定理由(案)
10	エンピセンノウ (142 / EN)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、かつ、草刈り場の減少等により、その個体の生育地が著しく消滅しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
11	ヤマシャクヤク (195 / VU)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
12	ベニバナヤマシャクヤク (69 / CR)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
13	④ タデスミレ (71 / CR)	里山に生育する長野県固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
14	サクラソウ (196 / VU)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、かつ、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念されるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
15	④ シナノコザクラ (146 / EN)	山地帯から亜高山帯にかけて生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
16	コイワザクラ (76 / CR)	山地帯の岩場に生育する日本固有種で、個体数が既に少なく、かつ、園芸を目的とした採取圧により個体数が減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。
17	クモイコザクラ (76 / CR)	亜高山帯から高山帯にかけて生育する日本固有種で、個体数が既に少なく、かつ、園芸を目的とした採取圧により個体数が減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。
18	シラヒゲソウ (198 / VU)	山地帯から亜高山帯にかけて生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、かつ、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高いため。

整理 番号	種 名 (RDB掲載ページ・カテゴリー)	指定理由(案)
19	タヌキマメ (79 / CR)	里山に生育するもので、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
20	ハナノキ (201/ VU)	里山に生育する日本固有種で、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
21	ルリソウ (154 / EN)	里山に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、かつ、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。
22	ツキヌキソウ (161 / EN)	山地帯に生育する日本唯一の産地のもので、その自生地の一部が県の天然記念物に指定されているが、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
23	ツツザキヤマジノギク (94 / CR)	里山に生育する長野県固有種で、一部の市町村の天然記念物に指定されているが、開発行為及び川原の管理放棄により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
24	④ コマウスユキソウ (96 / CR)	高山帯に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧及び踏みつけにより、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
25	ヤマタバコ (97 / CR)	里山に生育する日本固有種で、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
26	ホソバノシバナ (53 / EX)	里山に生育するもので、既に個体数が少なく、かつ、踏みつけ及び開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。 (備考)レッドデータブックでは絶滅種として掲載されているもので、最近新たに発見された。
27	ヒメカイウ (169 / EN)	山地帯から亜高山帯にかけて生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高いため。

整理 番号	種 名 (RDB掲載ページ・カテゴリー)	指定理由(案)
28	ウ ラ シ マ ソ ウ (212 / VU)	里山に生育する日本固有種で、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。
29	シ ラ イ ト ソ ウ (115 / CR)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。
30	ミカワバイケイソウ (116 / CR)	里山に生育する日本固有種で、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
31	サ サ ユ リ (250 / NT)	里山に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
32	ヤ マ ユ リ (249 / NT)	里山に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
33	ハ ナ ゼ キ シ ョ ウ (116 / CR)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。
34	ヒ メ シ ャ ガ (218 / VU)	里山に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、かつ、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
35	コ ア ツ モ リ ソ ウ (120 / CR)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。
36	④ ア ツ モ リ ソ ウ (120 / CR)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。

整理 番号	種 名 (RDB掲載ページ・カテゴリー)	指定理由(案)
37	① ホ テ イ ア ツ モ リ (121 / CR)	里山に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。
38	キバナノアツモリソウ (181 / EN)	亜高山帯の草地に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
39	① ク マ ガ イ ソ ウ (120 / CR)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
40	サ ギ ソ ウ (123 / CR)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、かつ、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
41	① イ ワ チ ド リ (116 / CR)	里山に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。
42	ミ ズ チ ド リ (219 / VU)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、かつ、開発行為により、その個体の生育地の消滅又は環境の悪化が懸念され、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
43	① キ ン ラ ン (180 / EN)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
44	ト キ ソ ウ (220 / VU)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、今後、県民主体の保護回復活動が期待されるため。
45	ヤクシマヒメアリドオシラ ン (184 / EN)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。

整理 番号	種 名 (RDB掲載ページ・カテゴリー)	指定理由(案)
46	① ヒメホテイラン (119 / CR)	亜高山帯に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。
47	① ホテイラン (119 / CR)	亜高山帯に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が特に著しく減少しつつあり、絶滅の危険性が高く、特に緊急に保護を図る必要があるため。
48	サワラン (121 / CR)	山地帯から亜高山帯に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。
49	キリガミネアサヒラン (121 / CR)	亜高山帯の湿原に生育するもので、その自生地の一部が国の天然記念物に指定されているが、踏みつけによる個体数の減少が懸念され、特に保護を図る必要があるため。
50	カヤラン (126 / CR)	里山に生育するもので、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。 また、県民から保護の要請が高く、かつ、県民主体の保護回復活動が行われており、今後も期待されるため。
51	モミラン (122 / CR)	里山に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。
52	ユウシュンラン (119 / CR)	里山に生育する日本固有種で、園芸を目的とした採取圧により、その個体数が著しく減少しつつあり、特に保護を図る必要があるため。